

技術研修報告「英語研修」

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡大学技術部 公開日: 2023-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 三宅, 亜紀 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00029517

技術研修報告「英語研修」

三宅亜紀

(静岡大学技術部機器分析部門)

1. 目的

静岡大学では、理工系の博士課程の留学生の多くが英語で研究活動を行っており、彼らの研究をサポートする技術職員にとって、英語でのコミュニケーションは不可欠である。また、掲示物や配布物、メールなどで英語併記が必要な場面も増えている。今後ますます需要が増えるであろう英語を使った業務に円滑に対応するため、大学連携研究設備ネットワークの技術英語研修を担当されている梅村先生を講師に迎え、英語研修を実施した。

2. 研修内容

2.1 スピーキング研修

2.1.1 概要

実施日：令和4年8月23日（火） 10:00～16:00

実施場所：工学部1号館ゼミ室1

参加人数：3人

2.1.2 研修プログラム

10:00～10:30 はじめに、自己紹介

10:30～12:00 技術英語 + ガムトーク

12:00～13:00 休憩

13:00～16:00 技術英語 + ロールプレイング（ペアを替えて数巡する）

16:00～16:40 業務紹介・施設訪問

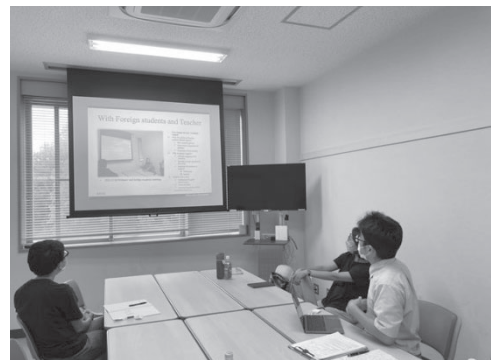
16:40～17:00 まとめ

2.1.3 詳細

スピーキング研修は対面で実施した。午前中はウォーミングアップとして、自己紹介とガムトークを使ったゲームを行った。最初はなかなか英語が出てこなかった参加者も、ゲームを通して少しずつ英語で発言することに慣れた様子だった。

午後からはロールプレイングと、施設訪問という形でプレゼンテーションの練習を行った。

ロールプレイングとは、「役割 (role)」と「演じる (play)」を組み合わせた言葉で、現場や実際に近い疑似場면을想定し、その中で自分の役割を演じることでスキルを身に付けるという学習方法である。今回の研修では、実際の業務を想定したシチュエーションを用意し、留学生とのやりとりを練習した。



業務紹介・施設訪問では、職場や仕事について PowerPoint を用いて説明したり、実際に担当している装置の場所まで移動して、装置や施設について英語で説明した。英語でのプレゼンテーションと質疑応答のよい練習となった。

図 1. 施設紹介の様子

2.2 ライティング研修

2.2.1 概要

実施日：令和 4 年 9 月 28 日（水） 13:00 ～ 15:00

実施場所：オンライン（Zoom）

参加人数：3 人

2.2.2 研修プログラム

10:00 ～ 10:30 はじめに

10:30 ～ 11:00 技術英語 + パラフレージング基礎編

11:00 ～ 11:50 技術英語 + パラフレージング応用編

11:50 ～ 12:00 まとめ

事前課題 2 問、当日課題 2 問

2.2.3 詳細

ライティング研修はオンラインで実施した。ツールは、zoom と google ドキュメントを使用した。準備した google ドキュメントにパラフレージングの事前課題の回答を書き込んでもらい、当日、参加者全員で読み合いを行い、表現の違いなどを学んだ。その後、当日課題としてパラフレージングを行い、作成した文章の読み合いを行った。

パラフレージングは英語学習の方法のひとつで、同じ意味の文章を異なる単語や構文を使って言い換えるトレーニングである。複数人で実施することで、自分にはない表現や言い回しを知ることができる。今回の研修では、記事や掲示、メールなどを題材にし、文章が相手にどのように伝わるかということを学んだ。



図 2. オンライン研修の様子

3. まとめ

研修後に実施したアンケートから、プログラムの内容に満足しており、今後の業務に役立つ研修であったという回答が得られた。

英語は一朝一夕では身につかないことから、今後も研修などで継続的な学習をサポートする仕組みをつくる必要があると考える。

謝辞

本研修にご参加いただきました皆様、講師を快く引き受けて下さり、プログラム作成にもご尽力いただいた梅村綾子先生に深く感謝申し上げます。